



ゼロから

10年の記録

標茶 荒木さんが体験本

【標茶】標茶町・虹別
オートキャンプ場で夫婦
で管理人をする荒木美紀
子さん(33)がこのほど、
東京の出版社から「北海
道に暮らす 道東編 資
金ゼロからの北海道移
住」を出版した。転職の
合間の休暇にふと訪れた
北海道で、荒木さんが職
活をゼロからスタート、
確立させた

この十年間
の記録がつ
自然体で北
海道に海け
込んでいっ
た記録をつ
づいた著書
を手にする
荒木さん

づられている。
荒木さんは大阪府生ま
れで、短大卒業後は紡績
会社でO.L生活を送って
いた。転職を決意し、一
九九六年十一月に退職。
内定を得ていた企業への
再就職までの一カ月の手
定で道内を旅行に出た。
旅を続けるうちに、満員
電車で揺られるサラリー
マン生活に疑問を持ち、
転職を断り、旅行を続け
たという。
釧路市内の民家で夫の
亮(まこと)さん(33)と
出会い、九七年春に結婚。
そして阿寒町徹別の一軒
家を借り、新たな生活を
スタートさせた。二〇〇
三年からは、標茶町虹別
キャンプ場の管理人を務

めている。

立派なロクハウスに代
表される豊かな団塊世代
の北海道移住のイメージ
に対抗して、数年前に開
設した「資金ゼロからの

移住」のホームページが
編集者の目に留まり、出
版に至った。
荒木さんは「移住はた
だ住む場所の選択に過ぎ
ず、それ自体が人生のゴ
ールではない。そこから
新たな生活が始まるのだ
ということを紹介したか
ら」と、出版の理由を
語る。さらに「支えてく

れた地元の人たちにも、
移住を考える本州の人た
ちにも読んでもらえたら
ら」と願っている。

長崎出版から出版さ
れ、初版二千部は首都圏
などの書店に並んだ。定
価千七百円で、二百十九
部、虹別オートキャンプ
場でも販売している。

(広瀬浩一)